

の注文がほとんどだったとのこと。
藍染めは、繊維の締まりを丈夫にするだけでなく、防虫・消臭、紫外線を遮る効果などもあります。また、濃紺、浅黄色、水浅黄など、同じ藍でも染めの回数で色の濃淡が変わり、

筑波山麓農業体験ワークショップ

筑波山麓で安心・安全な野菜をつくらう！ 種まきからはじめる切干し大根づくり

筑波山麓で使っていない田畑を農業体験の場にしよう、つくば市主催の、農業体験ワークショップが開催されました。

田井地区は、筑波山のふもとに位置して「北条米」の米所として有名ですが、ほとんどの農家は田んぼ以外にも、畑や山林を所有しています。近年、田井地区の農業は縮小傾向で、収益性の低い畑は、作付けしない遊休農地になりがちです。そこでつくば市農業課が中心となって農地の活用をめざす農業体験ワークショップ



折々の季節の野菜も収穫しました

洗う度に色が冴えてくるのだそうです。お話を伺っていると、山麓の四季折々の景色に映えるジャパンブルーが目につかぶようでした。

松本真朋(里山建築研究所)



切った大根を並べて干します



おおきな大根がとれました！

さんの畑で9月から毎月1回、計5回にわたり農業体験が行われました。今年度の夏は猛暑で畑がカラカラになってしまい、予定していた大根の種まきが遅れ、心配しましたが、その後すくすくと育って12月には立派な大根となりました。今回の農業体験ワークショップは大根を収穫しておしまいではなく、切干し大根作りまでを体験しました。切干し大根

が企画されました。今回、農業指導を担当したのが白井在住の農家、松本清司さんご夫妻。松本

きじりひとひかるすそみ食のブランド 日本酒「つくば道」と日本茶「神郡茶」

純米酒「つくば道」はいかが
店主とのなげない会話が楽しく、買い物をした後に心がほっこりと暖かくなる。すそみには、そんなお店がまだ健在です。

神郡の肥田酒店は、百年以上の歴史を持つお店。店主の肥田久子さんがお嫁に来た頃は、ビンなど持参のお客に楯で計ってお酒を売っていたとか。才色兼備の久子さんは、昭和61年頃に商工会婦人部長をされておられ、その頃つくば道が日本の道百選に選ばれました。そこで久子さんは醸造元とアイデアを出しあって新しいお酒を開発。それが今、肥田酒店限定販売の純米酒「つくば道」。くせのないまろやかな味と定評の「つくば道」。ラベルは久子さんのデザイン



「つくば道」と店主の肥田久子さん

ン、自らの書というのは驚きです。つくば道という文字は、筑波山の姿と重なる優しい穏やかな印象です。一升瓶の方には、筑波山とつくば道を描いた久子さんの水墨画も描かれています。

つくばを心から大切に思う、そんな思いが生み出したお酒に出会うことができました。値段は四号瓶1050円、一升瓶2037円。(肥田酒店02918670182)

神郡産「深むし茶」をどうぞ

土作りから茶葉の育成まで研究を重ねながら神郡産やぶきた茶を生産している榎戸和夫さん。お茶作りを始めて8年、苗の購入・栽培方法・加工先選びなどすべて手探りで始まり、4年の歳月を費やしたそうです。農薬を少なくするための土作りはワラ・植木のチップ・肥料等を混ぜて半年かけての堆肥作りが欠かせないとおっしゃいます。茶木の管理、茶摘みの作業等さまざまに苦勞を乗

深むし茶を手にする榎戸さんご夫妻



り越えて、販売までこぎつけました。神郡の土地は土質が良く、茶葉は厚いので、昨今健康に良いと話題の深むしが合っているとの事。やわらかで上品な香りと深い味わいのお茶です。常時、筑波農産物直売所で販売しています。100g 600円〜700円。(問合せは榎田さんまで029186713835)

石井博子(神郡地区)

つくば道を花で飾りましょう

苗づくり、草取りなどのボランティアを募集します。赤、白、ピンクの3色の花で描く絵のデザインも募集中です。連絡先は0291866611860 鮎川和行さんまで

するワークショップとなりました。農業体験ワークショップは来年度も引き続き開催される予定です。皆さんも筑波山麓で農業を体験してみませんか？

安藤慧(里山建築研究所)

「ドンデラ」のお堂跡を発見！

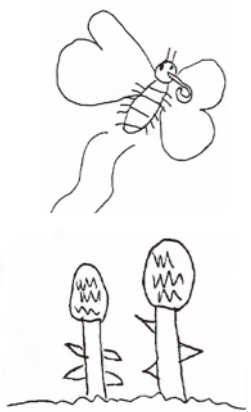
「すそみろく」前号の炭焼き記事中にある「ドンデラ(白滝の下)」という文字にピーツ！とこられた郷土歴史家の井坂敦実先生より、「白滝の下にもドンデラがあるとは知らなかった、ぜひ案内してほしい」と依頼を受けました。「ドンデラ」というのは「ドウダイラ」がなまった呼び方で、かつてお寺やお堂があった場所だそうです。

さっそくお話をうかがった皆川松男さんの案内で、井坂先生と現地を確認。皆川さんによると、戦後は「ドンデラ開墾」と言って、その辺りを耕し畑にしたそうですが、現在はすっかり荒れた藪です。その中に忽然と姿を消した井坂先生、「見つけたよ！見てごらん、ここ石垣！」。先生曰く、「この石垣の積み方はちよつと気に入らない」のだそうですが、「小さなお堂があったことは間違いないだろう」とのことです。「すそみろく」の記事がきっかけで見つかったお堂跡、地域の歴史がちよつとずつ紐解かれていくように感じました。

松本真朋(里山建築研究所)

インフォメーション

- 田井ミュージアム「春の芸術祭」
4月29日(金・祝)〜5月5日(木・祝)
田井ミュージアム(つくば市神郡54)
ダンス公演、神郡ミステリーツアー、コンサート、研究会、草木染展など盛りだくさんの企画を予定しています。期間中カフェ・ソレイユ営業。
- 「問」NPO法人自然生クラブ
029186612192
- 田楽の集い「田植え」
5月15日(日)10時〜15時/大雨中止
山の神の谷津田(つくば市神郡2336)
参加費大人1000円、学生・障害のある方500円(昼食代込) / 谷津田で紙マルチによる黒米や赤米などの手植え。お昼に田楽舞いもあります
- 「問」NPO法人つくば環境フォーラム
0291866315151
- 和綿の種ゆずります。
わた部/連絡先029186711086



絵：瀬尾千春(田井小学校4年)